



発行日 平成27年9月 第91号

日頃、地域医療連携にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。  
 円滑な病診連携を推進するため、紹介・逆紹介に関するアンケート調査を行いました。今後も、患者さんが安心して治療を継続できるよう、調査結果を関連部署と共有し、スムーズな診療の受け入れに努めていきたいと思っております。

今回は、アンケート結果の一部をご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

## 紹介・逆紹介に関するアンケートの結果報告

調査目的：紹介・逆紹介に関する事業評価を行い、病診連携上の課題を明らかにする。

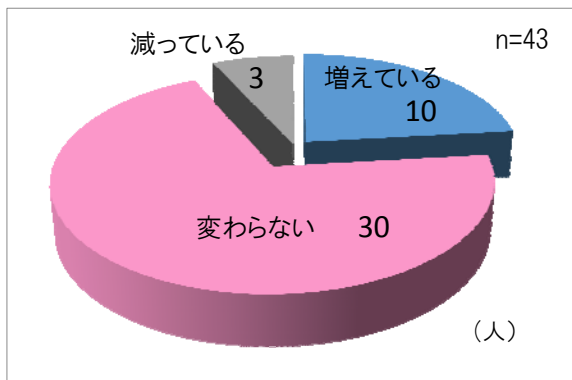
調査対象：横手市の地域医療機関（病院を除く）56施設

調査期間：平成27年7月31日～8月7日

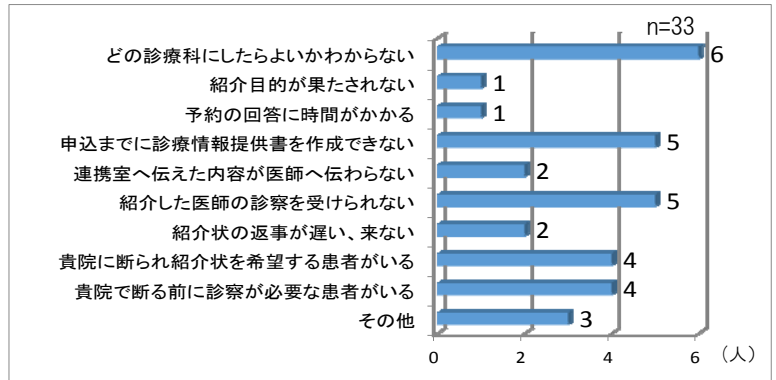
調査方法：FAXによる質問紙調査

回収率：77%（配布数56 回収数43）

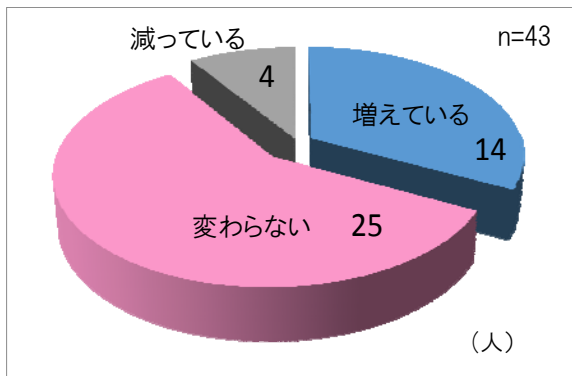
調査結果



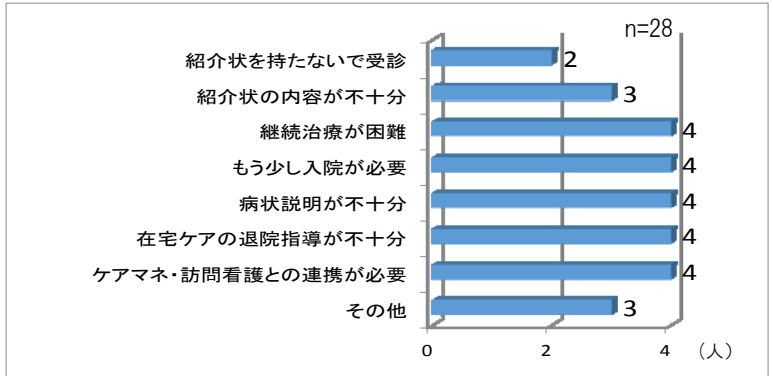
1. 当院への紹介件数は増えているか



2. 当院へ紹介する際、困ること（複数回答）



3. 当院からの逆紹介件数は増えているか



4. 当院から逆紹介を受ける際、困ること（複数回答）

### <地域医療機関の先生方からのご意見>

1. 貴院に通院中の患者さんが別の症状を訴えた時、貴院に対応していただければ、患者さんにとってベストだと思うが、実際には、診ていただけないことが多いように感じる。
2. 平病でA科にかかっているがB科を希望した場合、かかり付け医の紹介状が必要とされることがある。また、近医を勧められることがある。その場合、A科の紹介状がほしい。
3. 総合内科があれば、紹介しやすい。
4. 入院治療を目的にして紹介する場合、期待通りでないことが間々あるようになった。
5. 診療情報提供書に、検査データや内服薬等、治療内容の記載が不足している場合がある。
6. ○○病院を希望する方が増えている。